

## 令和元年度 東郷町図書館協議会会議録

### 1 開催日時

令和元年7月1日（月）午前10時から午前11時まで

### 2 開催場所

東郷町民会館1階 第2会議室

### 3 出席委員

加藤正春(学識経験者)、梶原博子(学識経験者)、野々山清子(社会教育委員会代表)、  
長谷川厚(小学校校長代表)、松本仁志(中学校校長代表)、  
近藤真理子(保育園代表)、近藤浩子(児童館代表)、  
鈴木真紀(小中学校PTA連絡協議会会長)

### 4 事務局

生涯学習課 教育部長、課長、主査

### 5 指定管理者

東郷町施設サービス株式会社 代表取締役社長、図書副館長、図書館担当

### 6 傍聴者

0名

### 7 会議内容

(1) あいさつ

(2) 委嘱状交付・自己紹介

(3) 委員長及び副委員長の選出

(4) 議題

ア 平成30年度 図書館事業実績報告について

イ 令和元年度 図書館の運営について

(5) その他

### 8 会議記録

別紙のとおり

## 会議の内容

### 1 あいさつ（教育部長）

お忙しい中、図書館協議会の委員をお引き受けくださり、誠にありがとうございます。皆様に、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただき、小さくても、多くの皆様に御利用いただける、充実した図書館となるよう努めてまいりたいと思います。

### 2 委嘱状交付・自己紹介

### 3 委員長及び副委員長選出

委員長に加藤正春委員、副委員長に梶原博子委員が選出された。

### 4 議題

#### (1) 平成 30 年度 図書館事業実績報告について

※ 副館長より、会議資料 1 に基づき説明。

- ・開館状況及び利用状況について
- ・読書推進事業について
- ・資料整備及び点検等について

#### 【質疑等】

特になし。

※ 平成 30 年度 図書館事業実績報告については、承認された。

#### (2) 令和元年度 図書館の運営について

※ 副館長より、会議資料 2 に基づき説明。

- ・管理体制について
- ・運営方針について
- ・主な取り組みについて

#### 【質疑等】

委員 夏休み前などに、保育園や学校から、おすすめの本が紹介されたプリントをもらって来るが、子どもはみんなおすすめの本を借りたいため、図書館へ行っても貸出し中で借りることができない場合が多い。貸出しも、1人10冊2週間というのは、借りる方としては良いのだが、貸出し中となってしまうことが多くなってしまう。学校等がおすすめする本を夏休み期間

は冊数を増やす等、何か対策はしているのか。

副館長 図書館の本を購入する場合、通常は1冊、人気のある本については2冊購入しているが、課題図書は7冊購入し、貸出しは1人1冊1週間として多くのお子さんに読んでいただけるようにしている。

委員 課題図書に限らず、おすすめしてくれる本が借りやすい環境だとよい。また、小さい子どもはおすすめされた本を読みたくなるため、たくさんおすすめしてもらえるとよい。おすすめの本が無いとがっかりしてしまう。

副館長 ぜひ参考にさせていただきたい。

委員 児童向けの本は、作者別か、タイトル別か、どのように陳列されているのか。他の図書館へ行くと、おすすめの本がピックアップされているコーナーもある。子どもが借りやすく、選びやすい並びだとよい。

副館長 本の大きさがまちまちであるため、タイトル別に並べてある。ただ、人気シリーズの本などは、シリーズごとに並べているものもある。

委員 自分の体験で、図書館で学習をしようと思って東郷町の図書館に来たことがあるが、非常に使いづらく、日進やみよしの図書館へ行ったほうが、効率的に進めることができた。

運営方針に「小規模図書館だからこそ」とあるが、あのスペースで、あの図書館で、何を伝えたいか、誰をターゲットにするか、ということが大切ではないか。豊田の図書館へ行くと、蔵書も多く、何でも出てくる。そういう図書館と一緒にするつもりはないが、あの限られたスペースで、誰をターゲットにし、何を育てたいかを限定してもおかしくないのではないか。

今日の資料に「調べ学習」とあるが、今はみんなインターネットで調べている。ところが、情操豊かにしていくということを考えると、幼児教育、絵本、そこを絞り込んで、特に読み聞かせ、これはとても効果的な子どもの教育のひとつの方法である。また、本を読むと認知症になりにくい。スマホは、若年性認知症になりやすいことが分かっている。読み聞かせには、本好きで、認知症になりにくい頭を小さいときから鍛えていく効果があると思う。

あの限られたスペースは、対象を子どもとし、世界の絵本や日本の絵本などを幅広くそろえて、絵本で子どもを育てるとよいのではないか。また、子どもを育てることは、親を育てることにつながる。限られたスペースで、限られた予算で、誰をターゲットにするか、一番効果的なのは子どもではないか、と思う。

代表取締役 おっしゃるとおりである。我々も、小さいお子さんにもっと来ていただきたいと思い、本棚を増やし、絵本を選びやすく整理した。

また、健康づくりも大事だと思っている。図書館で勉強すると、もっと

勉強したくなり、いろいろなところに出かけたくなり、普段から動くようになるため、健康づくりにつながると考えている。この2点、特に小さな子どもたちに対してしっかりと事業を行っていきたい。ただ、そこばかり行っているといけないので、バランスを取りながら進めていきたい。

委員 毎年お願いしているが、東郷町に独立した図書館がないということをとでも寂しく思っている。部田山に住んでいるが、若い方が引っ越してくることが多く、図書館の場所を聞かれると、町民会館の3階にあると教えるのだが、町民会館に行ったが図書館がどこにあるのかわからなかった、という方が非常に多い。町民会館がまず入りにくい。また、入ったら3階に上がらなければならない。図書館への行き方が非常にわかりづらい。どうしたら図書館の存在を知っていただけるのか。

小さい図書館でありながら、ものすごくがんばっている。評価したいものがたくさんあるが、町民に図書館の場所を知っていただけないのが残念である。

また、学校で読み聞かせを行っていると思うが、私も昔、音貝小学校へ読み聞かせに行っていた。最初は興味なさそうな1年生も、夏休みが明けると、目を見開いて聞いてくれるようになる。今の子どもたちは、読み聞かせの時間が足りないのではないか。

児童館で0～3歳くらいの子どもたちに読み聞かせをした時、最近よくある、触って楽しむことができる絵本に触ってもらいながら話しかけたりすると、0歳の子どももとても興味を示す。このような、特殊な本も図書館に増やしていただきたいし、図書館の存在を皆さんになんとか知っていただく方法を、皆さんの力で考えていけると良い。

代表取締役 現在、図書館の看板が全くない。3階の窓ガラスに「東郷町立図書館」と貼ったり、床に図書館の案内表示を試してみたりするのはどうか、と話し合っているところであり、大きな課題となっている。

委員 3年くらい言い続けているが、案内表示について、変わっていない。私が学校に読み聞かせに行っていたときは、ボランティアの人数が足りないと、6年生が1年生の教室に行って読み聞かせを行うこともあった。素晴らしいことだと思うし、子どもたちに本の好きな子に育ってほしい。

委員 和合ヶ丘に住んでいるが、幼稚園のバスを待っている親子に、お楽しみ会の案内をしたところ、図書館はどこにあるのか、と聞かれた。新しく転入してくる方は、図書館の場所を知らない方が多い。もっと図書館の認識を広めたほうがよい。

委員 先ほどから出ている、図書館の窓ガラスに案内を貼る、看板を立てるなどは、図書館の場所をわかってもらわなければ意味がないので、遠慮なくやっていただければよいのではないか。

委員 ここまで来ないと看板は見えないので、まずはここに来てもらうことをわかってもらわなければならない。ポストインでチラシを配布するか、転入時にチラシを配布してもらうか、とにかくここに図書館があるという認識を広めてもらわなければならない。

委員 原点のような話である。

代表取締役 PRのため、うちわを作成したりしてはいるが、地域の回覧板で回していただくことも良いと思うので、今までなかなかその発想はイベント以外ではなかったが、今後検討したい。

委員 回覧板で図書館のイベントのチラシが回ってきたことは一度もない。しかし、他のイベントについては、きちんと回覧板で回ってくる。回覧板に入れることも大事なのではないか。

副館長 図書館だよりをどうしたら多くの人に見ていただけるのかを考えているところである。回覧板や広報に挟み込めないか等考えたりもしているが、町や自治会との調整も必要であるため、できるところから進めていきたい。

委員 小さい子どもがいる家庭は、回覧板よりもインターネットを見る方が多いのではないか。

委員 回覧板はサインして次の家庭に回すため、結構見ている。

委員 転入手続きの際等に、アドレス等を登録してもらい、図書館からお知らせを配信するとよいのではないか。紙媒体をなかなか見ない世代でも、スマートフォンにお知らせが届けば、道案内しなくても来てもらえる。いいところを上手に活用できるとよいのではないか。

代表取締役 弊社でも図書館のホームページを作成しているが、どこまでの方が見てくださっているのかわからない。そのため、アドレス等を登録してもらい、図書館情報が配信できるとよいと思うため、検討していきたい。

また、ららぽーとの中に恐らく立派な本屋がオープンすると思うが、みなさんが図書館ではなく、そちらに行ってしまうのではないか、という心配をしている。図書館の役割やどうしたら図書館に来てもらえるかをしっかりと考え、店舗内に図書館の紹介コーナーを設けさせてもらうなど、連携を図っていけたらと考えている。またアイデアがありましたら、教えていただけたらと思うので、よろしく願います。

委員 そういう心配をするのであれば、先ほど申し上げたとおり、図書館のターゲットを子どもに絞ったほうが良いと思う。東郷町は、もともと税金がある町ではない。そんな中、どこにお金を使うかという、昔から東郷町は教育にお金を使う町である。ここを忘れずに取り組んでもらいたい。

委員 東郷町の図書館は小さいが、図書館スタッフの対応はとても優しく親切である。このまま素晴らしい対応を続けていってほしい。

※令和元年度 図書館の運営については、承認された。

- 5 その他  
特になし。